

アビリンピックやまがた (やまがたけんしょうがいしゃぎのうきょうぎたいかい)

〈 縫製 〉 公表課題

1 課題 エプロン製作

裁断済みの支給された材料でエプロンを製作しなさい。

2 競技時間 135分

3 禁止事項

- (1) 競技時間中に他人から指導や助言を受けてはならない。
- (2) 競技エリアの外からアイコンタクトやジェスチャー等を受けてはならない。
- (3) 他の選手やスタッフの妨害をしてはならない。
- (4) 競技時間に遅刻、及び競技時間中に許可なく席を離れてはならない。
- (5) 故意に備品や機材等を毀損させてはならない。
- (6) 定められた競技時間・競技エリア以外で課題を実施してはならない。
- (7) 競技中に工具の貸し借りを行ってはならない。
- (8) 自分で作成した手順書や、メモを書き込んだ事前課題等は競技に持ち込んではならない。アタッチメント等も持ち込んではならない。(作業を補助する型紙の持ち込みは可。)
- (9) 競技中に、スマートフォン等の通信機器(電卓機能の使用を含む)を使用してはならない。
- (10) その他、大会運営や競技実施に支障を来す恐れのある行為をしてはならない。

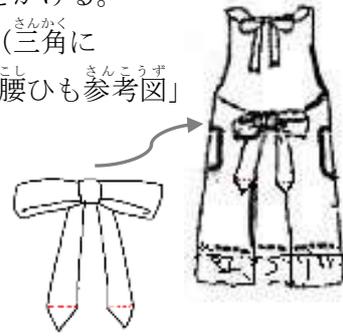
4 注意事項

- (1) ミシンの調整は、各自で行う。
- (2) 支給材料は、欠陥のない限り再支給はしない。
- (3) 競技が終了したら競技委員に手を挙げて申し出ること。
- (4) 完成しなくても、できた部分を採点します。未完成による失格はありません。
- (5) 用具類の片付け、糸始末なども競技時間内に終えてください。
- (6) エプロンは、たたんで提出してください。



5 仕様

- (1) 肩ひも：2cmの出来上がり幅で三方に端ミシンステッチをかける。
- (2) 腰ひも：上下を0.5cmの三つ折り縫いし、先は三角始末（三角になるように、中縫いを返し、返してステッチをかける）。（「腰ひも参考図」を参照する。）付け側は4cm上がり巾にタックをとる。
- (3) ダーツ縫い：中縫いをし、縫い代は中心側へたおす。
- (4) ポケット
ポケット口：1cm、2cmで三つ折り縫いとする。
ポケット付け：「ポケットの付け方 図1」を参照する。
端ミシン、押さえ金幅（0.6cm）のダブルステッチとする。
- (5) 見返し：見返し布の下側を0.5cm、1cmの三つ折り縫いとする。
- (6) 袖ぐりカーブ：1cm折り、袖ぐりから胸のステッチ幅は、押さえ金の幅（0.6cm）でかける。
- (7) フリル作り：できあがり幅10cm、裾、両端は0.5cmの三つ折り縫いとする。
フリル付け：ギャザーを寄せ、身頃の裾につけ（付け縫い代両端は、脇縫いで挟みつける）押さえ金幅（0.6cm）のステッチをかける。
- (8) すそ：2cm、2cmで三つ折り縫いとする。
- (9) 脇：1cm、1.5cmで三つ折り縫いとする。ステッチの順序は、すそ縫いの後、腰ひもを挟み込み、脇縫いとする。



6 支給材料

- (1) 表地（綿ツイル）：1着分
（裁断済みで袖ぐり、フリル上部はロック処理済み、ポケット位置、ダーツ位置、肩、腰ひも位置に印あり）
- (2) ミシン糸：1個

縫製競技使用用具一覧表

1 競技者が持参するもの

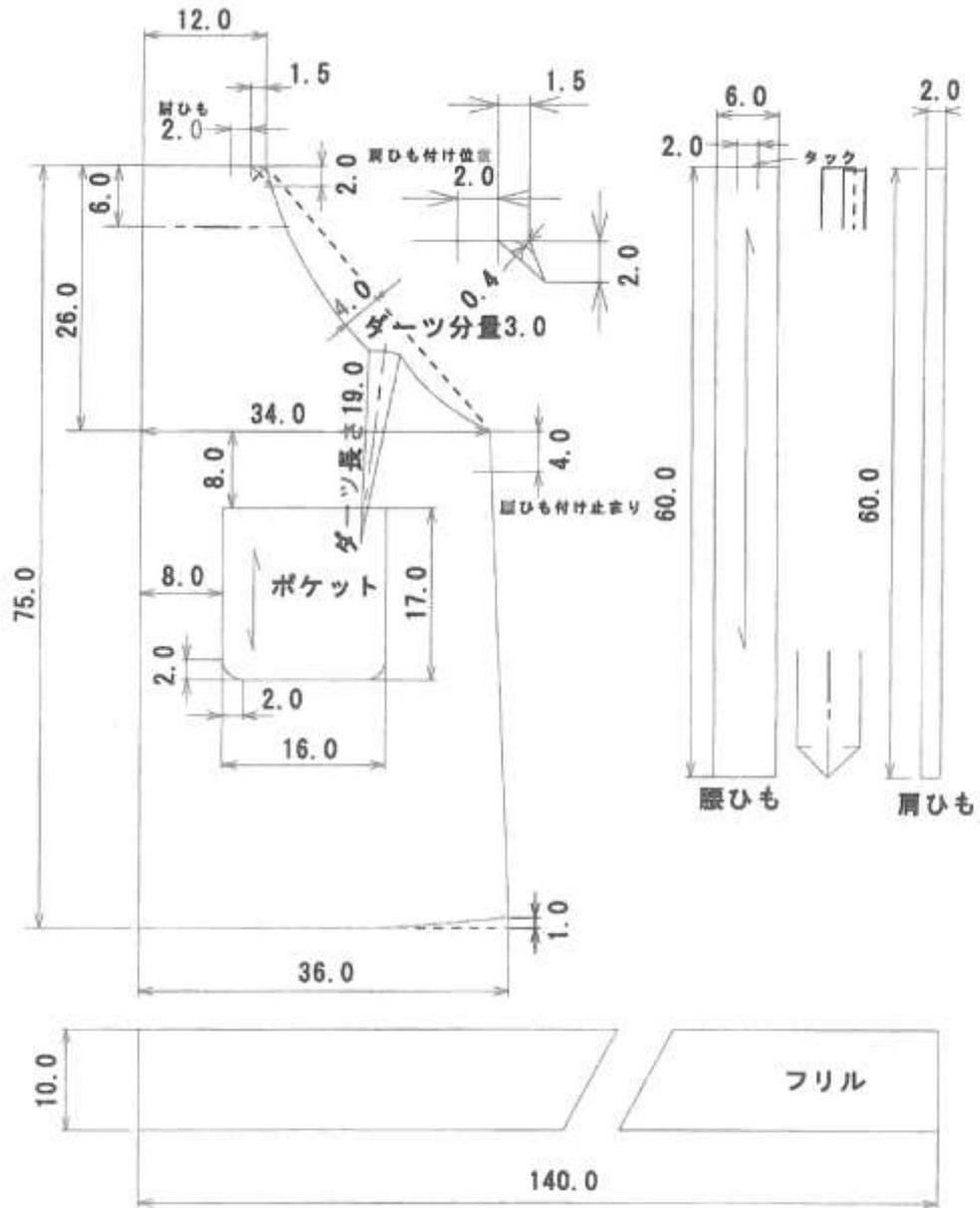
	品名	規格	数量	備考
せつ び 備 る い 類	ミシン		1台	
	ボビンケース		1個	
	ボビン		2個	
	ミシン針		2本	
よう 用 具	縫製用具類一式	適宜	適宜	裁ばさみ、小ばさみ、目打ち、ものさし、チャコ、ステッチ定規他必要な補助具等
	アイロン	家庭用スチームアイロン	1台	
	アイロン台		1台	
	敷布		1枚	

2 競技場に準備してあるもの

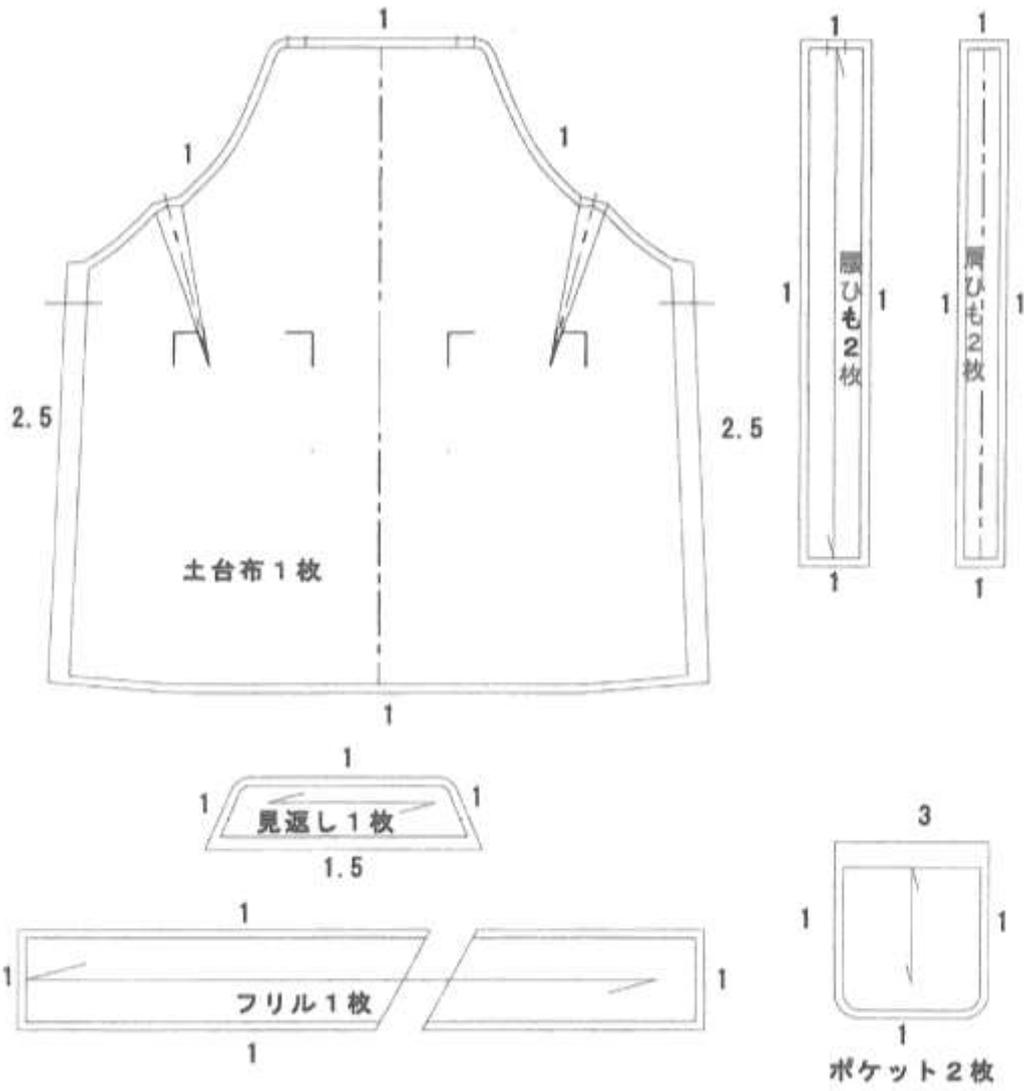
	品名	規格	数量	備考
せつ び 備 る い 類	作業台 (長机)	1800×900×700程度	4台	コの字型に配置
ざいりょう 材 料	おもてじ 表地	綿の中厚地 (綿ツイル)	1枚分	裁断済み 袖ぐり、土台裾はバイアステープ接着済み 袖ぐりはロック済み
	ミシン糸	化繊糸 #50	1本	

注：自分で作成した手順書や、メモを書き込んだ事前課題等は競技に持ち込むことができません。作業を補助する型紙の持ち込みは可とします。アタッチメント等の持ち込みはできません。

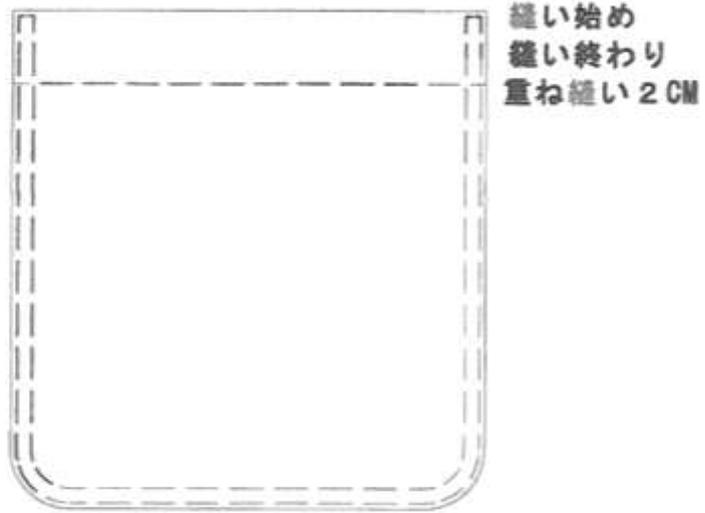
エプロン (製図)



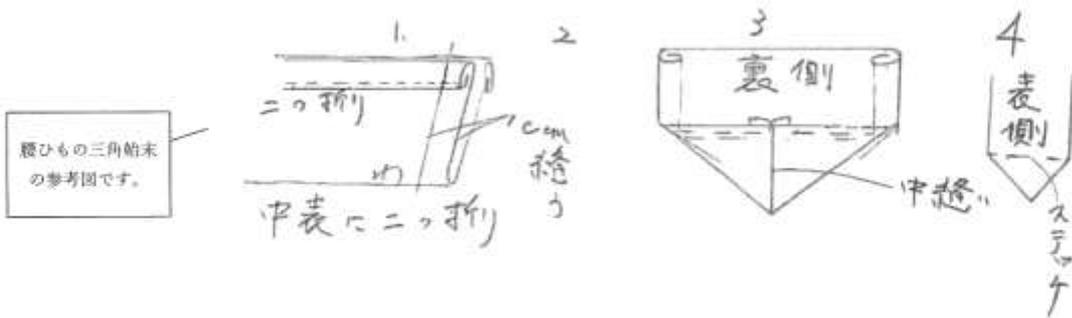
エプロン (製図)



ポケットのつけ方 ^{かた} 図1



腰ひも ^{こし} ^{さんこうず} 参考図



練習用参考作図

